

平成24年度

埋蔵文化財調査年報

— 国庫補助事業対象分 —

2014年3月

太子町教育委員会

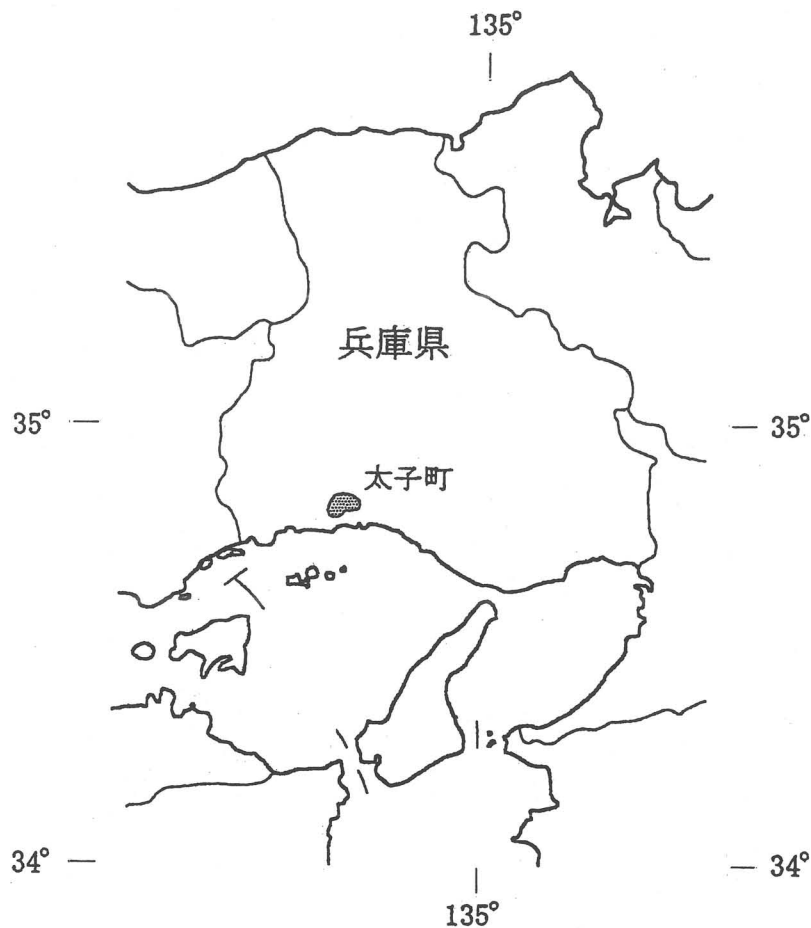
平成 24 年度
埋 蔵 文 化 財 調 査 年 報

2014 年 3 月

太子町教育委員会

例 言

1. 本報告書は、平成 24 年度に実施した埋蔵文化財調査のうち、国庫補助事業として実施した試掘確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課文化財係海野浩幸が担当した。
3. 本報告書の執筆・編集は、社会教育課文化財係海野浩幸が行った。
4. 遺物実測・トレース等の整理作業は、改発法子・好田美貴が行った。
5. 調査位置図は、太子町作成 1/25,000「太子町全図」(平成 9 年)を 1/30,000 に縮小して、各遺跡のトレンチ配置図は、太子町作成 1/2,500 の地図を使用した。
6. 本報告書の示す標高は、T・P を基準とし、方位は座標北を示す。
7. 本報告書で用いた経緯度は、世界測地系を基準とした。
8. 遺物実測図の断面は、縄文土器・弥生土器・土師器は黒塗りで、須恵器は白抜きで、陶磁器はドットでそれぞれ示した。
9. 本報告書に使用した図面・写真は、太子町教育委員会が保管している。



第 1 図 太子町位置図

調査体制

【平成 24 年度】

事務局	教育長	寺田寛文
	教育次長	神南隆司
	社会教育課長	井上八郎
	同 係長	丸尾正美
	同 係長	岡田ひとみ
	同 主査	田淵保紀
	同 主事	岩本純平
文化財担当	社会教育係長	田村三千夫
	同 主査	三村修次
	同 主査	海野浩幸



写真 1 調査風景（斑鳩寺北遺跡）

目次

例言 調査体制

I 平成 24 年度調査概要	1
平成 24 年度調査概要	
斑鳩寺北遺跡	3
鶯構居跡	5
斑鳩寺南遺跡	9
鶯遺跡	11
矢田部南遺跡	13
沼田遺跡	16
上構遺跡	20
II 報告書抄録	25

挿図目次

第 1 図 太子町位置図	
第 2 図 平成 24 年度調査位置図	2
斑鳩寺北遺跡	
第 3 図 トレンチ配置図	3
第 4 図 遺構平面図	4
鶯構居跡	
第 5 図 トレンチ配置図	5
第 6 図 遺構平面・土層断面図	6
第 7 図 出土遺物 (1)	7
第 8 図 出土遺物 (2)	8
斑鳩寺南遺跡	
第 9 図 トレンチ配置図	9
第 10 図 遺構平面・土層断面図	10
第 11 図 出土遺物	10
鶯遺跡	
第 12 図 トレンチ配置図	11
第 13 図 遺構平面図	12
矢田部南遺跡	
第 14 図 試掘坪配置図	13
第 15 図 土層断面図 (1)	14
第 16 図 土層断面図 (2)	15

沼田遺跡

第 17 図 試掘坪配置図	16
第 18 図 土層断面図 (1)	17
第 19 図 土層断面図 (2)	18
第 20 図 土層断面図 (3)	19

上構遺跡

第 21 図 トレンチ配置図	20
第 22 図 遺構平面・土層断面図	21
第 23 図 出土遺物	22

写真目次

写真 1 調査風景 (斑鳩寺北遺跡)

斑鳩寺北遺跡

写真 2 1 トレンチ (北より)	4
写真 3 2 トレンチ (南より)	4

鶯居跡

写真 4 1 トレンチ (東より)	8
写真 5 2 トレンチ (南より)	8

斑鳩寺南遺跡

写真 6 1 トレンチ (西より)	10
写真 7 2 トレンチ (南より)	10

鶯遺跡

写真 8 1 トレンチ (北より)	12
写真 9 2 トレンチ (東より)	12

矢田部南遺跡

写真 10 1 坪	15
写真 11 4 坪	15
写真 12 5 坪	15
写真 13 10 坪	15

沼田遺跡

写真 14 1 坪	19
写真 15 3 坪	19
写真 16 10 坪	19
写真 17 17 坪	19
写真 18 20 坪	19
写真 19 26 坪	19

上構遺跡

写真 20 2 トレンチ (東より)	22
--------------------	----

表目次

表 1	平成 24 年度埋蔵文化財調査一覧表	1
表 2	遺物観察表	23
表 3	平成 24 年度発掘届出（法 93 条）一覧表	24

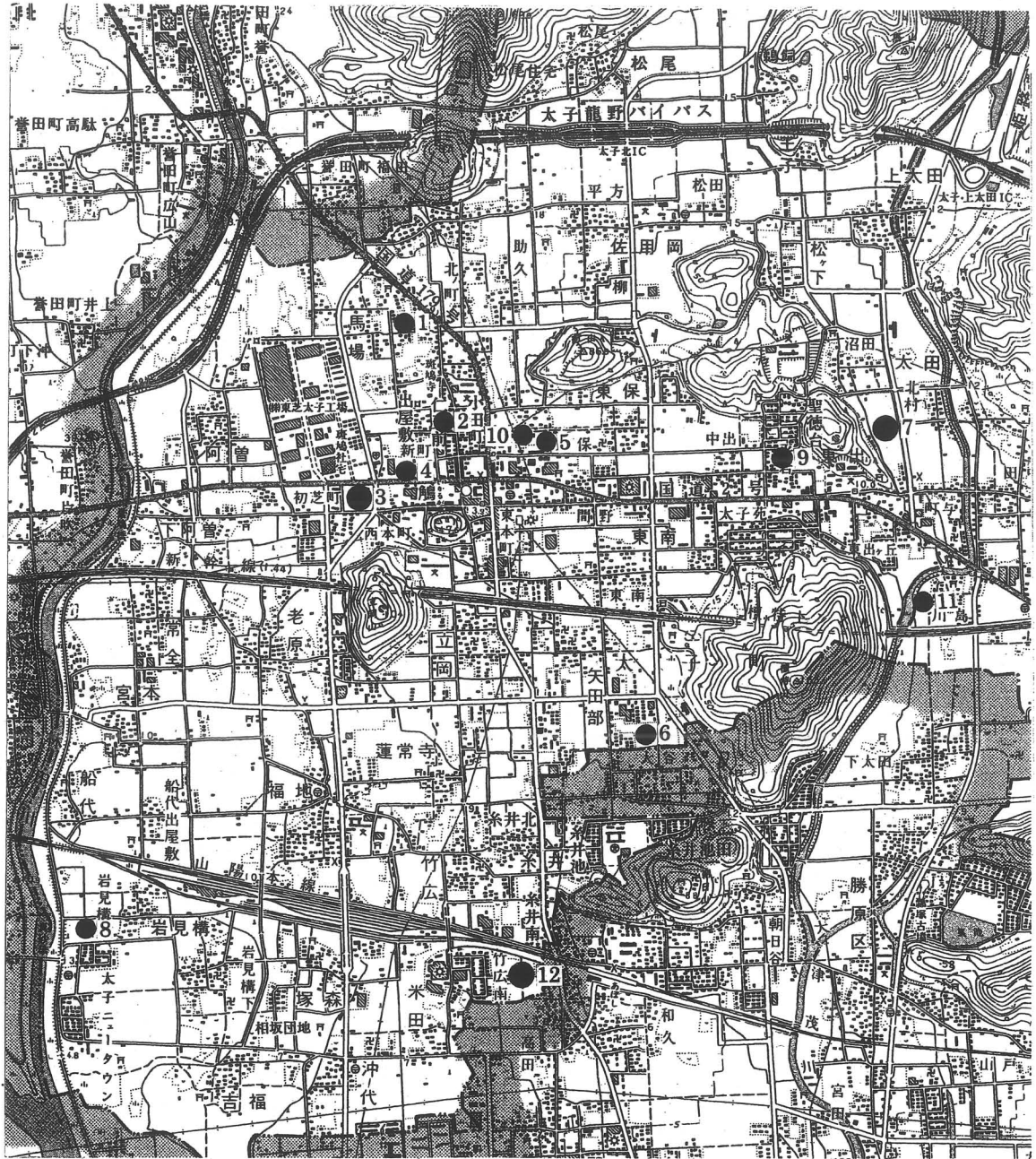
I 平成 24 年度調査概要

平成 24 年度では、12 件の試掘確認調査を実施した。その内訳は、民間の開発事業に伴う試掘確認調査が 10 件、公共事業に伴う試掘確認調査が 1 件、土地区画整理事業に先立つ確認調査が 1 件である。

そのうち、7 件の民間開発事業に伴う試掘確認調査を国庫補助事業として実施した。

表 1 平成 24 年度埋蔵文化財調査一覧表

No.	遺跡名	所在地	事業内容	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	調査期間	備考
1	斑鳩寺北遺跡	鶯字長福寺	宅地造成 国庫補助事業	1,538.0	134.24	平成 24 年 4 月 23 日 ～ 5 月 25 日	本書掲載
2	鶯構居跡	鶯字上之町	個人住宅建築 国庫補助事業	161.0	31.70	平成 24 年 5 月 30 日 ～ 6 月 11 日	本書掲載
3	斑鳩寺南遺跡	鶯字柳川	役場新庁舎建設 町単独事業	11,998.26	220	平成 24 年 6 月 11 日 ～ 8 月 24 日	未掲載 公共事業
4	斑鳩寺南遺跡	鶯字中宮寺	個人住宅建築 国庫補助事業	236.99	16.03	平成 24 年 7 月 6 日 ～ 7 月 17 日	本書掲載
5	鶯遺跡	東保字高田	個人住宅建築 国庫補助事業	237.07	16.03	平成 24 年 7 月 13 日 ～ 7 月 18 日	本書掲載
6	矢田部南遺跡	矢田部字書写田	宅地造成 国庫補助事業	1,793.0	50.13	平成 24 年 8 月 20 日 ～ 8 月 30 日	本書掲載
7	沼田遺跡	太田字岩町	社会福祉施設建設 国庫補助事業	11,874.17	120.36	平成 24 年 9 月 5 日 ～ 10 月 12 日	本書掲載
8	上構遺跡	岩見構字川ノ上	宅地造成 国庫補助事業	1,162.58	36.09	平成 24 年 9 月 20 日 ～ 9 月 28 日	本書掲載
9	東出遺跡	東出字平岩	宅地造成 町単独事業	1,129.50	32.07	平成 24 年 10 月 22 日 ～ 10 月 29 日	未掲載
10	鶯遺跡	鶯字樋詰	個人住宅建築 町単独事業	161.02	14.03	平成 24 年 11 月 19 日 ～ 11 月 22 日	未掲載
11	川島遺跡	太田字清水ヶ本	宅地造成 町単独事業	4,803.8	84.19	平成 24 年 12 月 17 日 ～ 平成 25 年 1 月 11 日	未掲載
12	鍛冶田遺跡	糸井字鍛冶田 他	区画整理 町単独事業	56,000.0	168.55	平成 25 年 2 月 5 日 ～ 3 月 12 日	未掲載



第2図 平成24年度調査位置図 (1/30,000)

斑鳩寺北遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶴字長福寺 887 番 1 他 2 筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 4 月 23 日～5 月 25 日

5. 調査面積

134.24 m²

6. 記録作成

遺構実測図 (1/20)、土層実測図 (1/20)、トレンチ配置図 (1/200)

写真記録 (カラーリバーサル 35mm、デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 50 分 17 秒)、東経 (134 度 34 分 30 秒)



第 3 図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町鶴字長福寺 887 番 1 他 2 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である斑鳩寺北遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 15.40m 前後を測る水田で、西側は標高 15.60m 前後を測る畑である。

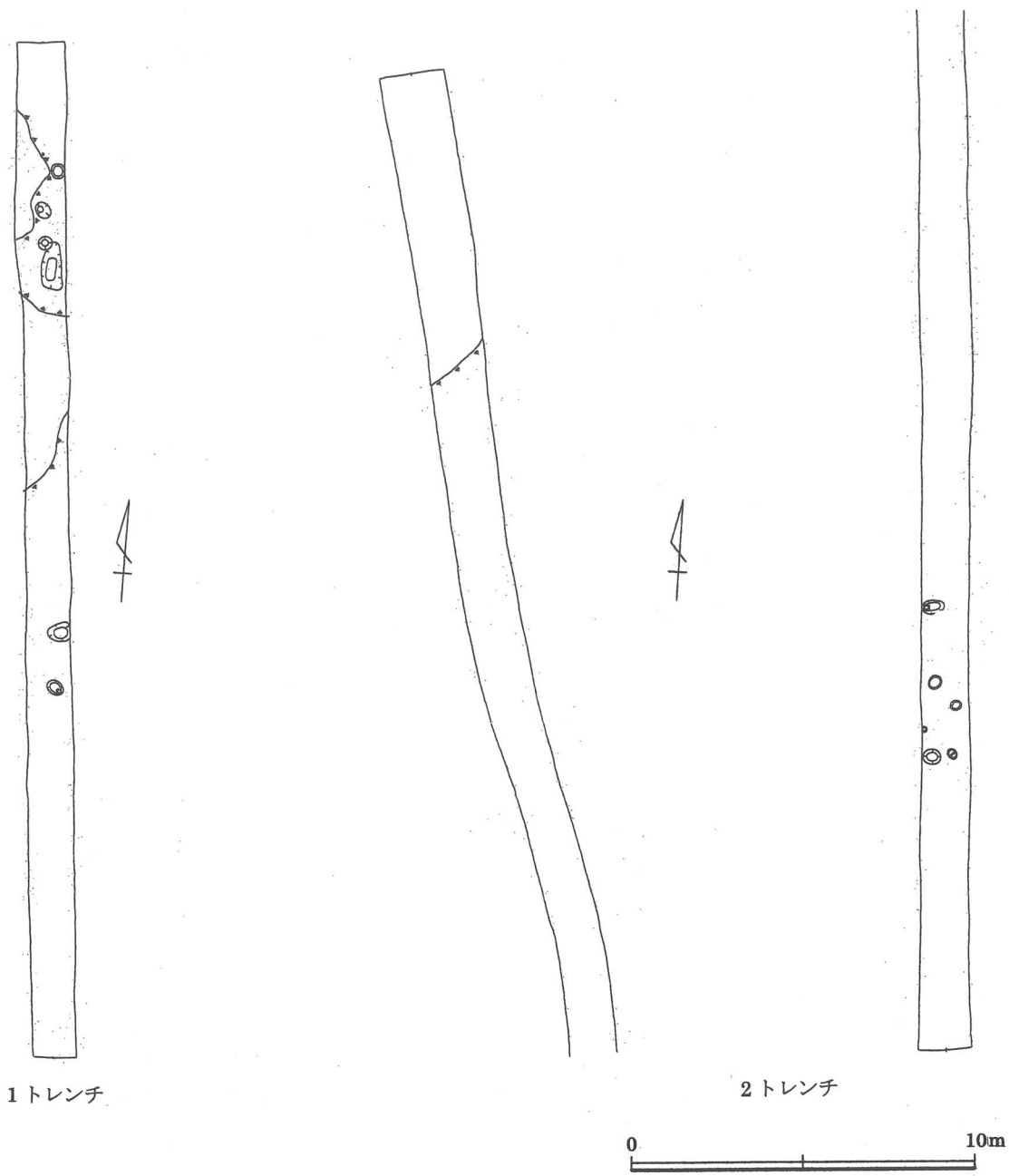
8. 調査の概要

調査は、掘削深度が推定遺構面より深くなる擁壁施行部分に 1.5×30m のトレンチ (1 トレンチ) と 1.5×60m のトレンチ (2 トレンチ) を設定して実施した。

調査地の基本土層は、1 トレンチでは上層から耕土 (15～26cm)、淡褐色土・畑造成盛土 (24～38cm) で黄褐色土・地山となっており、北半部では部分的に礫層となっている。2 トレンチでは上層から耕土 (20～24cm)、淡灰褐色土・床土 (8～20cm) で黄褐色砂質土・地山となっており、北端部では耕土直下で礫層となっている。遺構は、1 トレンチでピット 5 基、土坑 1 基、2 トレンチでピット 6 基が検出された。1 トレンチで検出されたピットは、直径 15～20cm、深さ 5～15cm を測り、土坑は長さ 40cm、幅 30cm、深さ 20cm を測る。2 トレンチで検出されたピットは、直径 15～25cm、深さ 10～20cm を測る。遺物は、1 トレンチで弥生土器・土師器・須恵器・備前焼が、2 トレンチで土師器・須恵器・備前焼がそれぞれ出土した。

9. まとめ

調査の結果、各トレンチで確認された遺構は、出土遺物から近世の遺構と考えられ、調査地南側の町道をはさんで所在する町立斑鳩保育園建設に伴う発掘調査で確認された遺構の時期とも一致するものであり、斑鳩寺の塔頭寺院に関連する遺構と考えられる。



第4図 遺構平面図



写真2 1 トレンチ (北より)



写真3 2 トレンチ (南より)

鶯構居跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鶯字上之町 620 番

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 5 月 30 日～6 月 11 日

5. 調査面積

31.70 m²

6. 記録作成

遺構実測図 (1/20)、土層実測図 (1/20)、遺物実測図 (1/1)、トレンチ配置図 (1/100)

写真記録 (カラーリバーサル 35mm、デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 50 分 11 秒)、東経 (134 度 34 分 37 秒)



第 5 図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町鶯字上之町 620 番において個人住宅建築工事が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である鶯構居跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 14.70m 前後を測る宅地である。

8. 調査の概要

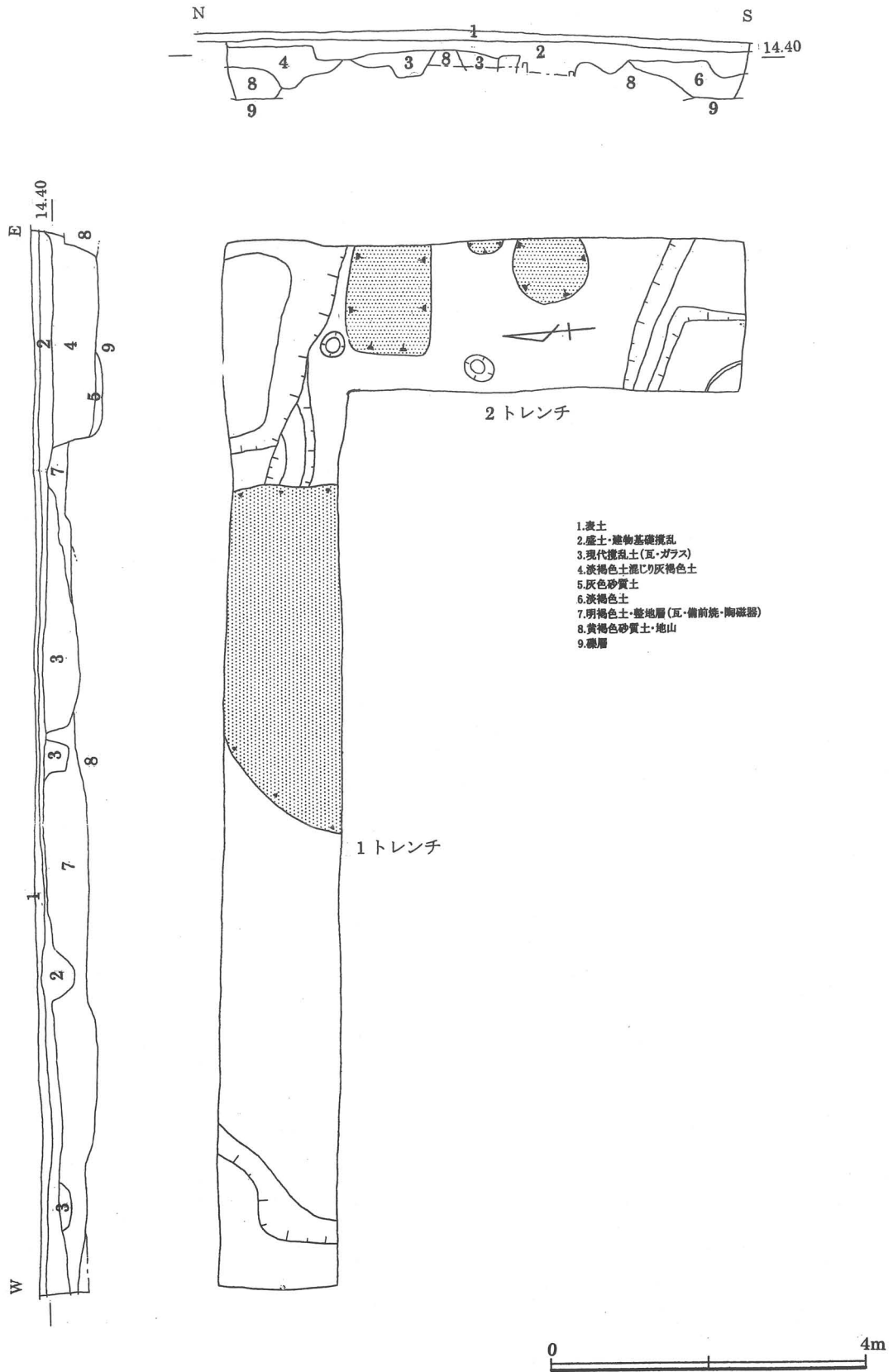
調査は、1.5×14m のトレンチ (1 トレンチ) と 2×5m のトレンチ (2 トレンチ) を設定して実施した。調査地の基本土層は、上層から表土 (10～12cm)、盛土・攪乱層 (14～18cm) で黄褐色砂質土・地山となっており、1 トレンチ西半部では淡褐色土・整地層 (60～75cm) が堆積している。遺構は、1 トレンチでピット 1 基、土坑 1 基、2 トレンチでピット 2 基、土坑 1 基が検出された。1 トレンチで検出されたピットは、直径 20cm、深さ 10cm を測り、土坑は、長さ 50cm、幅 30cm、深さ 20cm を測る。

2 トレンチで検出されたピットは、直径 10～20cm、深さ 15～25cm を測り、土坑は、長さ 60cm、幅 40cm、深さ 20cm を測る。遺物は、1・2 トレンチで検出された土坑から近世陶磁器・瓦と、1 トレンチの整地層から土師器・近世陶磁器・瓦が出土した。

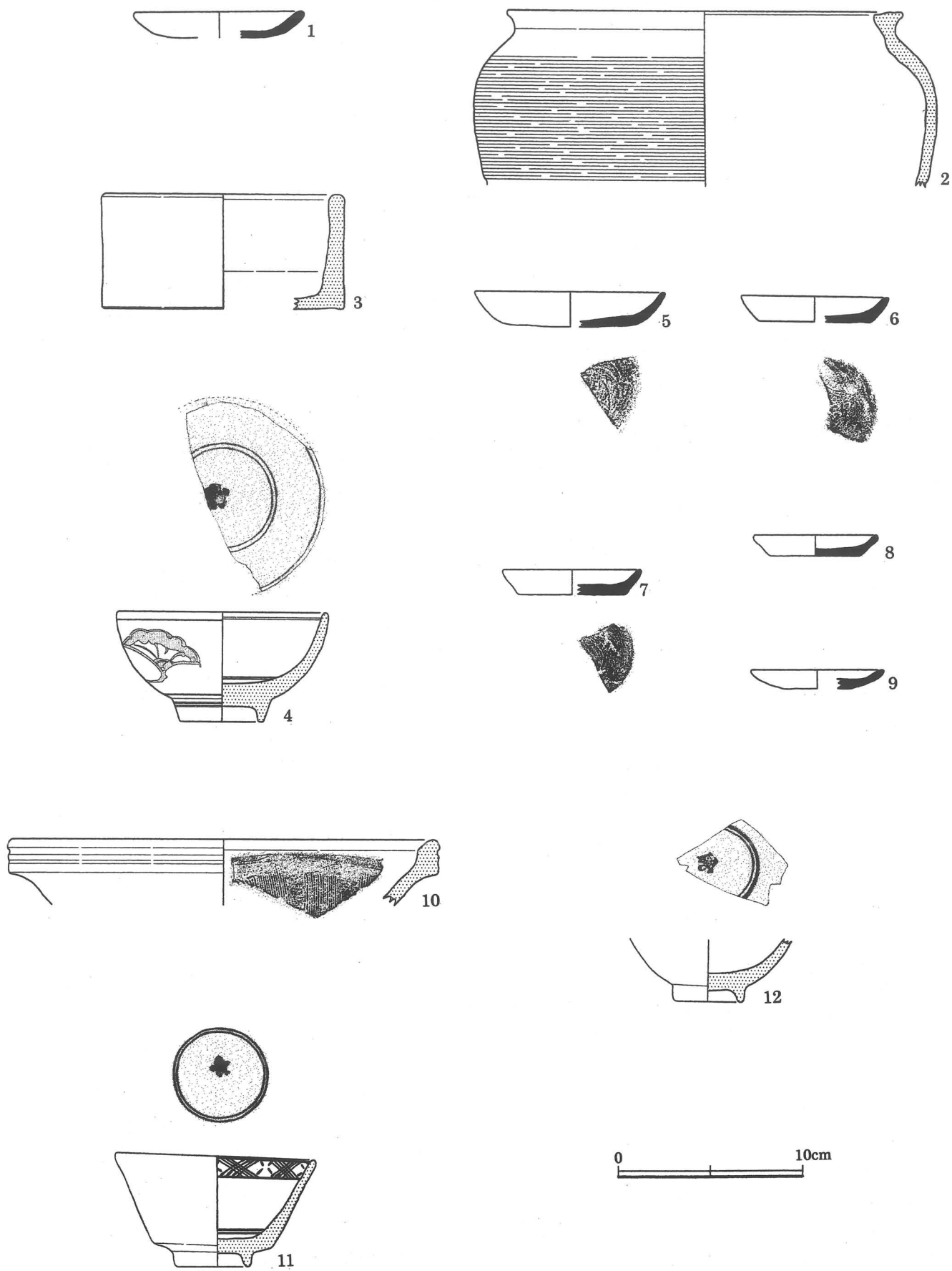
9. まとめ

調査の結果、以前に建っていた住宅に伴う基礎及び浄化槽等の攪乱が著しかったが、江戸時代末から明治時代にかけてのごみ穴と考えられる土坑 2 基と、同時期のピット 3 基を確認した。

今回、中世の鶯構居に関連する遺構は確認されなかった。



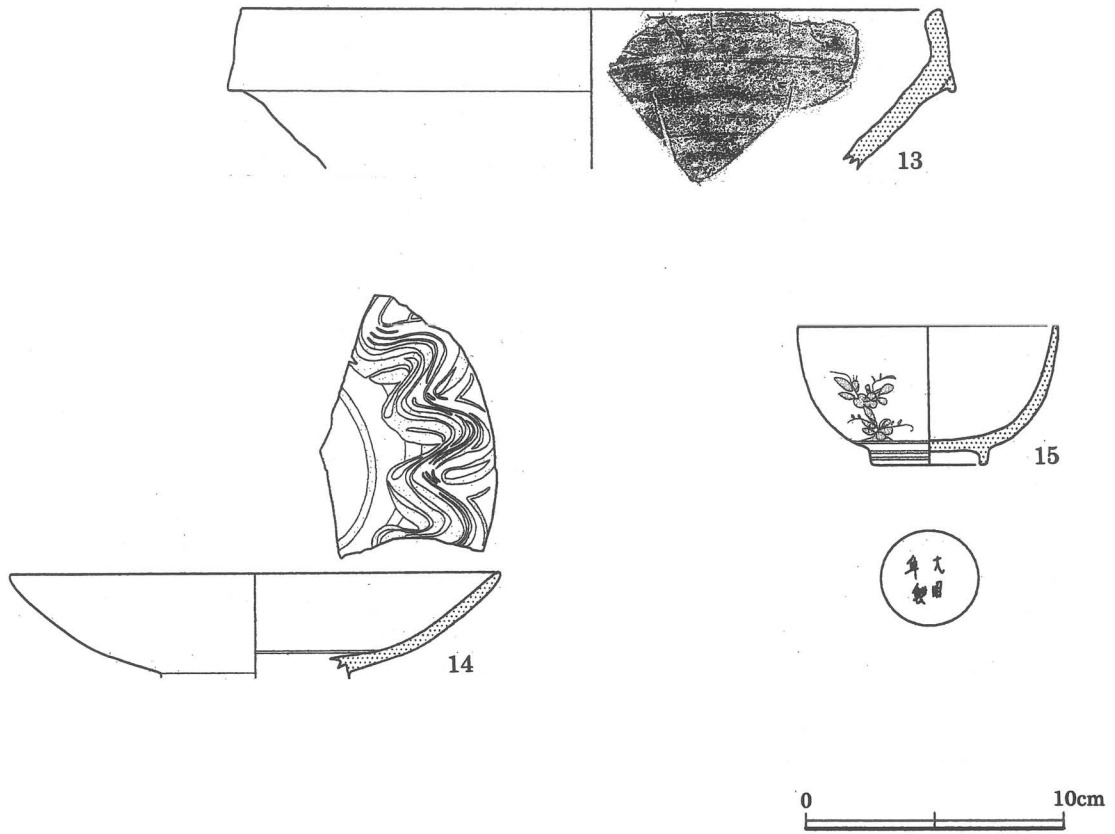
第6図 遺構平面・土層断面図



1~4 (1 トレンチ攪乱層)、5~9 (1 トレンチ西端製地層)、10~12 (2 トレンチ土坑 1)

(1・5~9. 土師器、2・3・10. 備前焼、4・11・12. 磁器)

第7図 出土遺物 (1)



13~15 (2トレンチ土坑3)
 (13. 備前焼、14. 唐津焼、15. 磁器)
 第8図 出土遺物 (2)



写真4 1トレンチ (東より)



写真5 2トレンチ (南より)

斑鳩寺南遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町鳩字中宮寺 504 番 1 他 2 筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 7 月 6 日～7 月 17 日

5. 調査面積

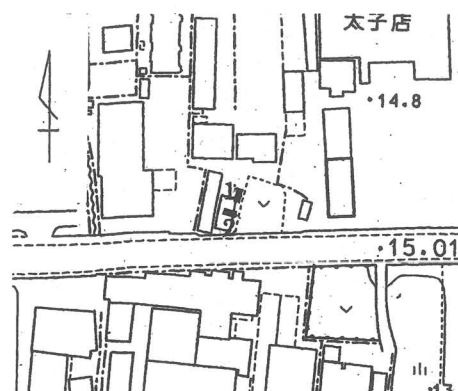
16.03 m²

6. 記録作成

遺構実測図 (1/20)、土層実測図 (1/20)、遺物実測図 (1/1)、トレンチ配置図 (1/200)

写真記録(デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 50 分 2 秒)、東経 (134 度 34 分 28 秒)



第 9 図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町鳩字中宮寺 504 番 1 他 2 筆において個人住宅建築工事が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である斑鳩寺南遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 14.70m 前後を測る宅地である。

8. 調査の概要

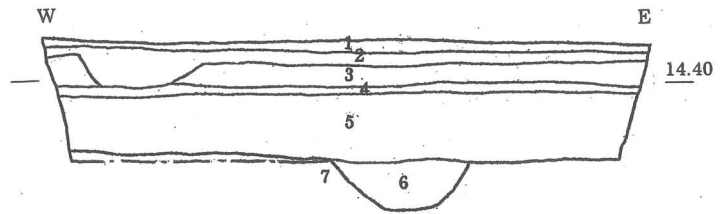
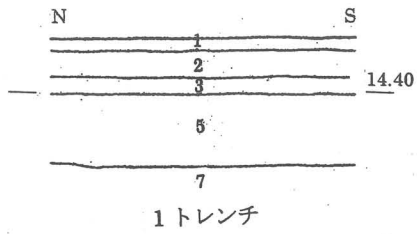
調査は、2×4mのトレンチを2箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は、上層から表土 (8cm)、盛土・攪乱層 (6～16cm)、旧耕土 (10～16cm)、暗黄灰色・床土 (6cm)、灰褐色土混じり明褐色土・整地層 (40～44cm) で礫混じり明褐色砂質土・地山となっている。遺構は、2 トレンチで土坑 2 基が検出された。土坑 1 は、直径 60cm、深さ 15cm を測り、土坑 2 は、調査区外に延びているため全容は不明であるが、幅 90cm、深さ 30cm を測る。

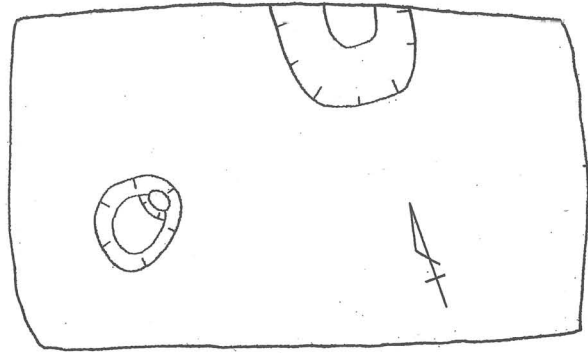
遺物は、土坑 1 から須恵器片、土坑 2 から縄文土器片・サヌカイト剥片が出土した。

9. まとめ

調査の結果、2 トレンチで確認された縄文時代後期の遺構は、今回の調査地の西約 60mの地点で平成 16 年度に実施した調査で確認された包含層の時期と一致するもので、周辺に同時期の遺構が広がる可能性が考えられる。



- 1.表土・碎石
- 2.盛土・攪乱層
- 3.灰褐色土・旧耕地土
- 4.暗黄灰色土・床土
- 5.暗灰褐色土混じり明褐色土
- 6.暗灰褐色土
- 7.円レキ混じり明褐色砂質土・地山



2 トレンチ

第 10 図 遺構平面・土層断面図



第 11 図 出土遺物



写真 6 1 トレンチ (西より)



写真 7 2 トレンチ (南より)

鶯遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町東保字高田 64 番 4 他 1 筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 7 月 13 日～7 月 18 日

5. 調査面積

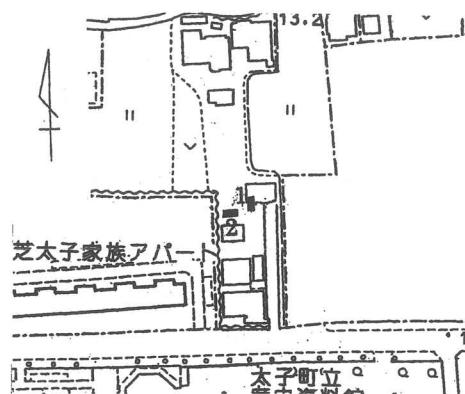
16.03 m²

6. 記録作成

遺構実測図 (1/20)、土層実測図 (1/20)、トレンチ配置図 (1/100)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 50 分 7 秒)、東経 (134 度 34 分 53 秒)



第 12 図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町東保字高田 64 番 4 他 1 筆において個人住宅の建築工事が計画され、建築予定地は周知の埋蔵文化財である鶯遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 13.60m 前後を測る宅地である。

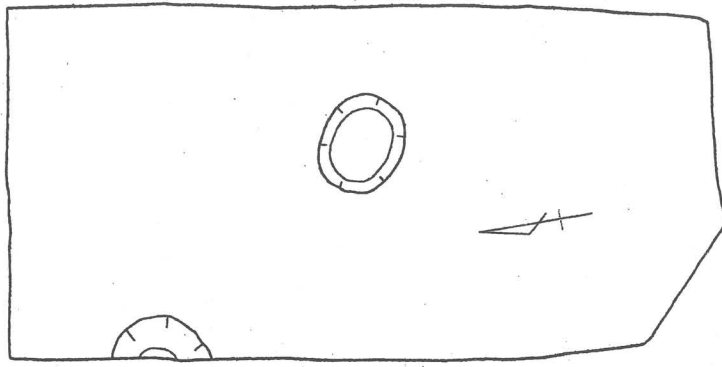
8. 調査の概要

調査は、2×4mのトレンチを 2 箇所設定して実施した。

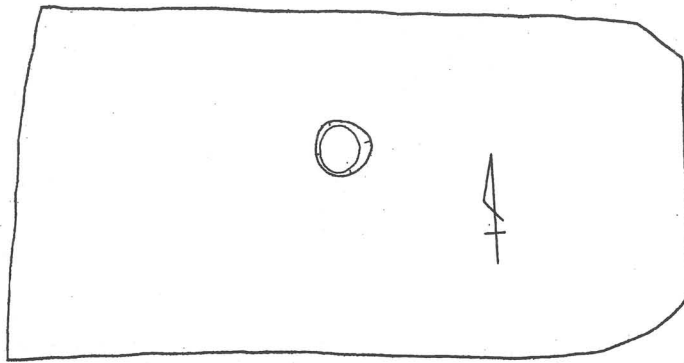
調査地の基本土層は、上層から碎石 (10cm)、盛土 (70～74cm)、旧耕土 (14～18cm) で黄褐色土・地山となっている。遺構は、1 トレンチでピット 2 基、2 トレンチでピット 1 基を検出した。ピットはそれぞれ 30～54cm、深さ 7～20cm を測る。遺物は、各トレンチ及びピットからも出土はなかった。

9. まとめ

調査の結果、遺物包含層お呼び遺物は確認されず、遺構も 1・2 トレンチから合わせて 3 基のピットを検出するにとどまった。



1トレンチ



2トレンチ



第13図 遺構平面図



写真6 1トレンチ (南より)

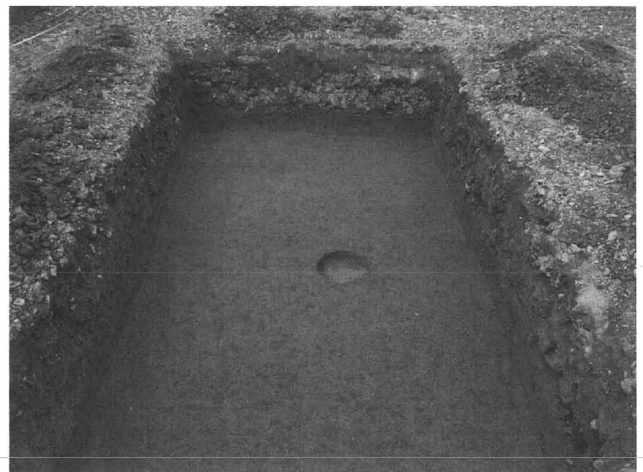


写真7 2トレンチ (東より)

矢田部南遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町矢田部字書写田 423 番 他 3 筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 8 月 20 日～8 月 30 日

5. 調査面積

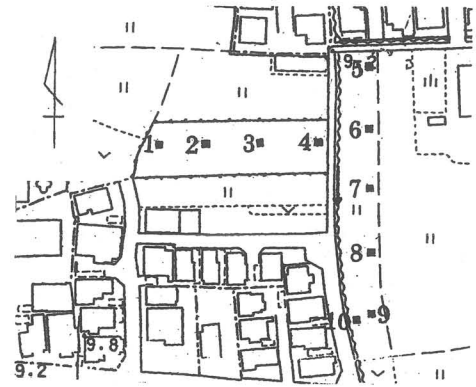
50.13 m²

6. 記録作成

土層実測図 (1/20)、トレンチ配置図 (1/500)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 49 分 26 秒)、東経 (134 度 35 分 8 秒)



第 14 図 試掘坪配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町矢田部字書写田 423 番他 3 筆において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である矢田部南遺跡の包蔵地内に一部かかることから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 8.50m 前後を測る休耕田と、標高 9.50m 前後を測る造成地である。

8. 調査の概要

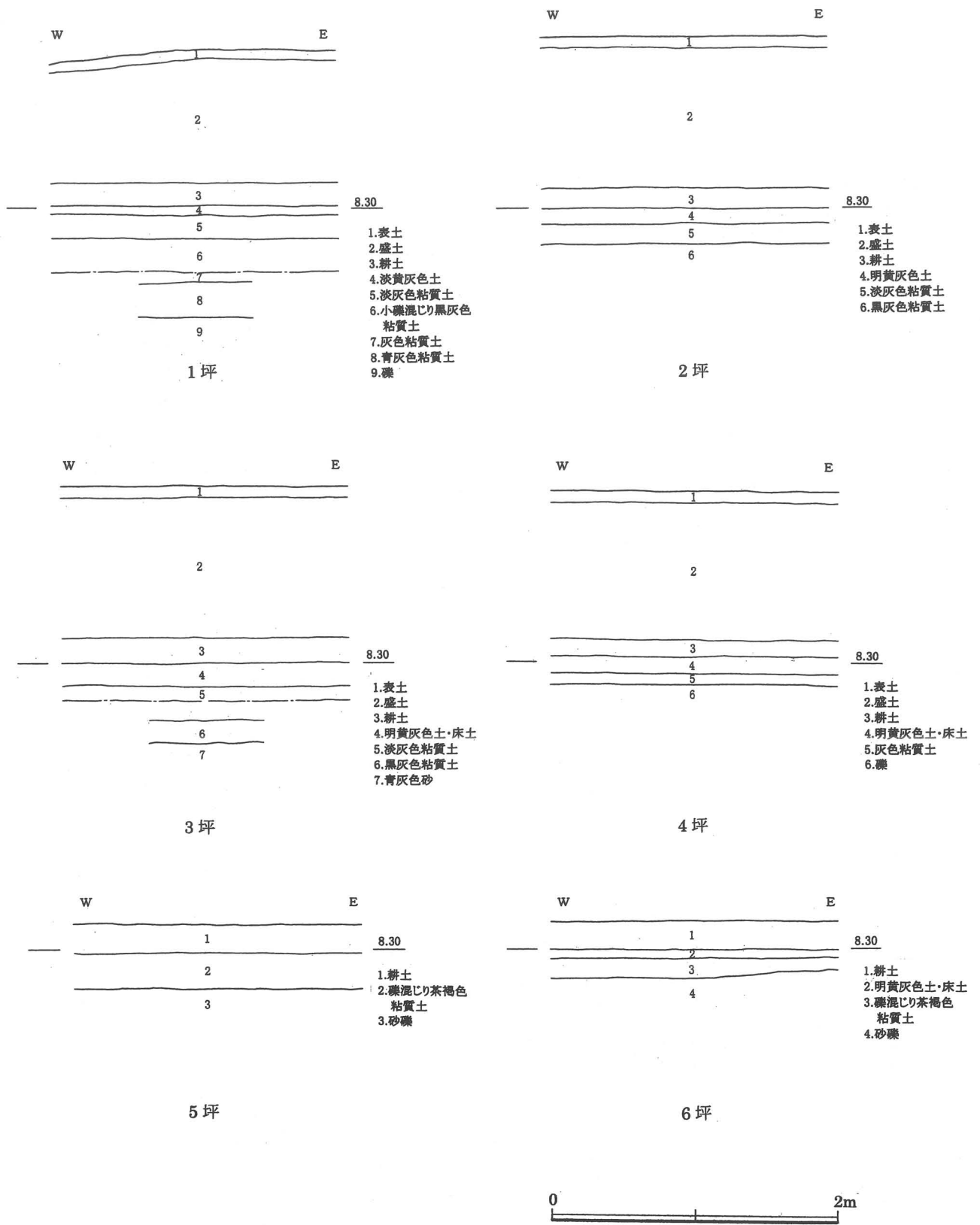
調査は、2×2m の試掘坪を 10 箇所設定して実施した。

調査地の基本土層は、西側の造成地部分に設定した 1～4 坪では、上層から表土 (8cm)、盛土 (80～100cm)、旧耕土 (12～28cm)、明黄灰色土・床土 (6～16cm)、淡灰色粘質土 (16～24cm) で黒灰色粘質土となっており、東端の 4 坪では淡灰色粘質土で礫層となっている。東側の休耕田部分に設定した 5～10 坪では、上層から耕土 (20～28cm)、明黄灰色土・床土 (6～20cm)、淡灰色粘質土 (16～22cm) で黒灰色粘質土となっており、北端の 5・6 坪では耕土 (20cm)、明黄灰色土・床土 (6cm)、礫混じり茶褐色粘質土 (8～26cm) で砂礫層となっている。遺構は、各試掘坪とも検出されなかった。

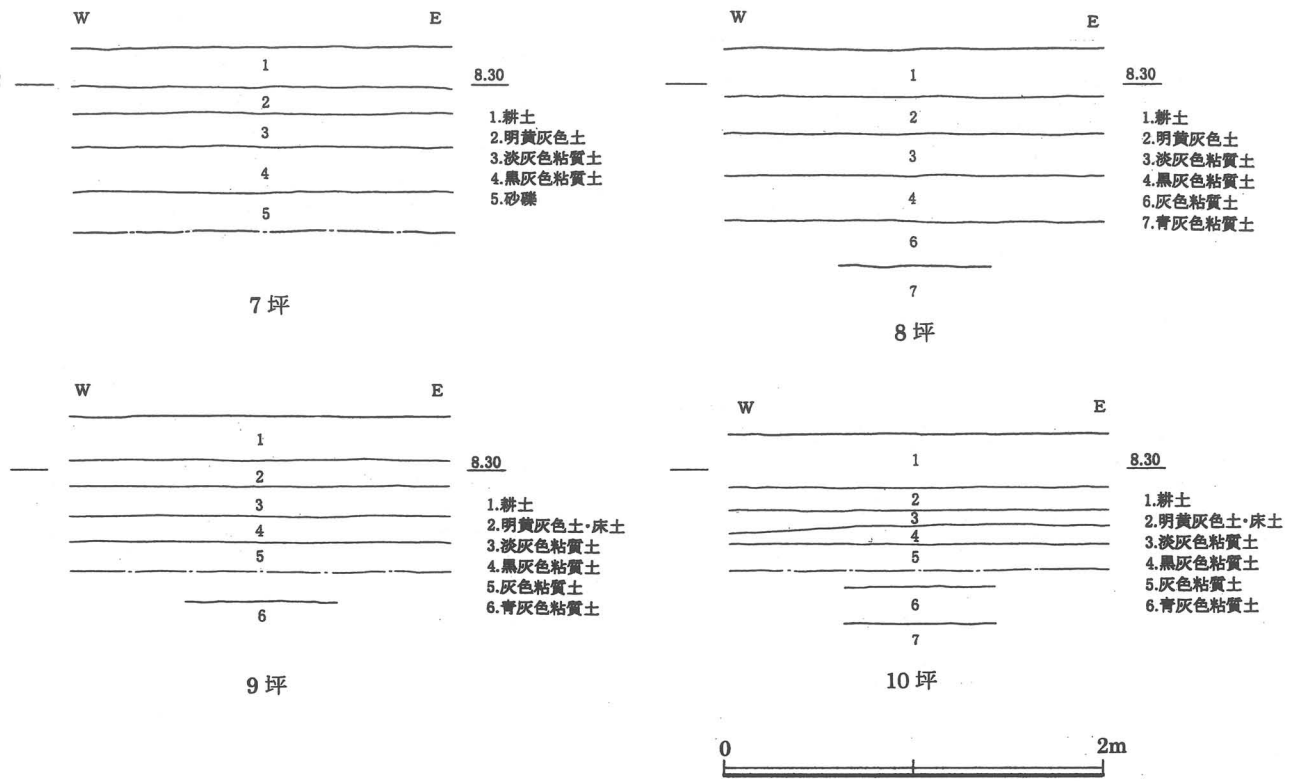
遺物は、8 坪から須恵器の小片 1 点が出土しただけである。

9. まとめ

調査の結果、遺物は須恵器の小片 1 点が出土しただけで、矢田部南遺跡に関連する遺構は確認されなかった。



第 15 図 土層断面図 (1)



第 16 图 土層断面图 (2)

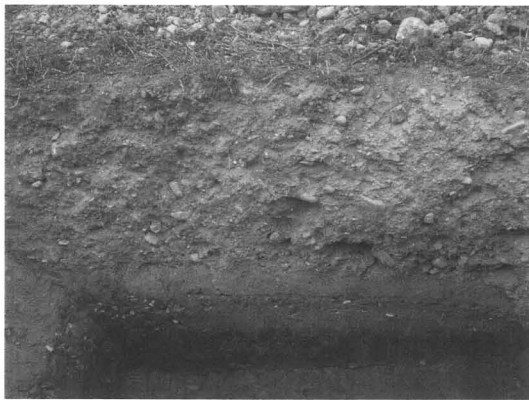


写真 10 1 坪



写真 11 4 坪



写真 12 5 坪



写真 13 10 坪

沼田遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町太田字岩町 231 番 他 13 筆

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 9 月 5 日～10 月 12 日

5. 調査面積

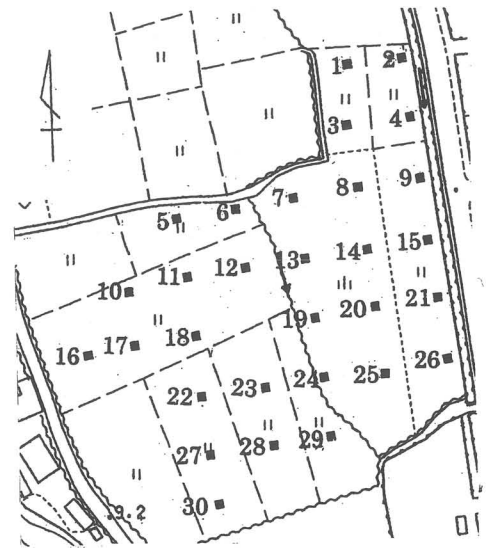
120.36 m²

6. 記録作成

土層実測図 (1/20)、試掘坪配置図 (1/1,000)、

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 50 分 11 秒)、東経 (134 度 35 分 52 秒)



第 17 図 試掘坪配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町太田字岩町 231 番他 13 筆において社会福祉施設建設工事が計画され、建設予定地は周知の埋蔵文化財である沼田遺跡の北に隣接することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に試掘調査を実施した。調査地の現況は、標高 9.30～9.60m 前後を測る休耕田である。

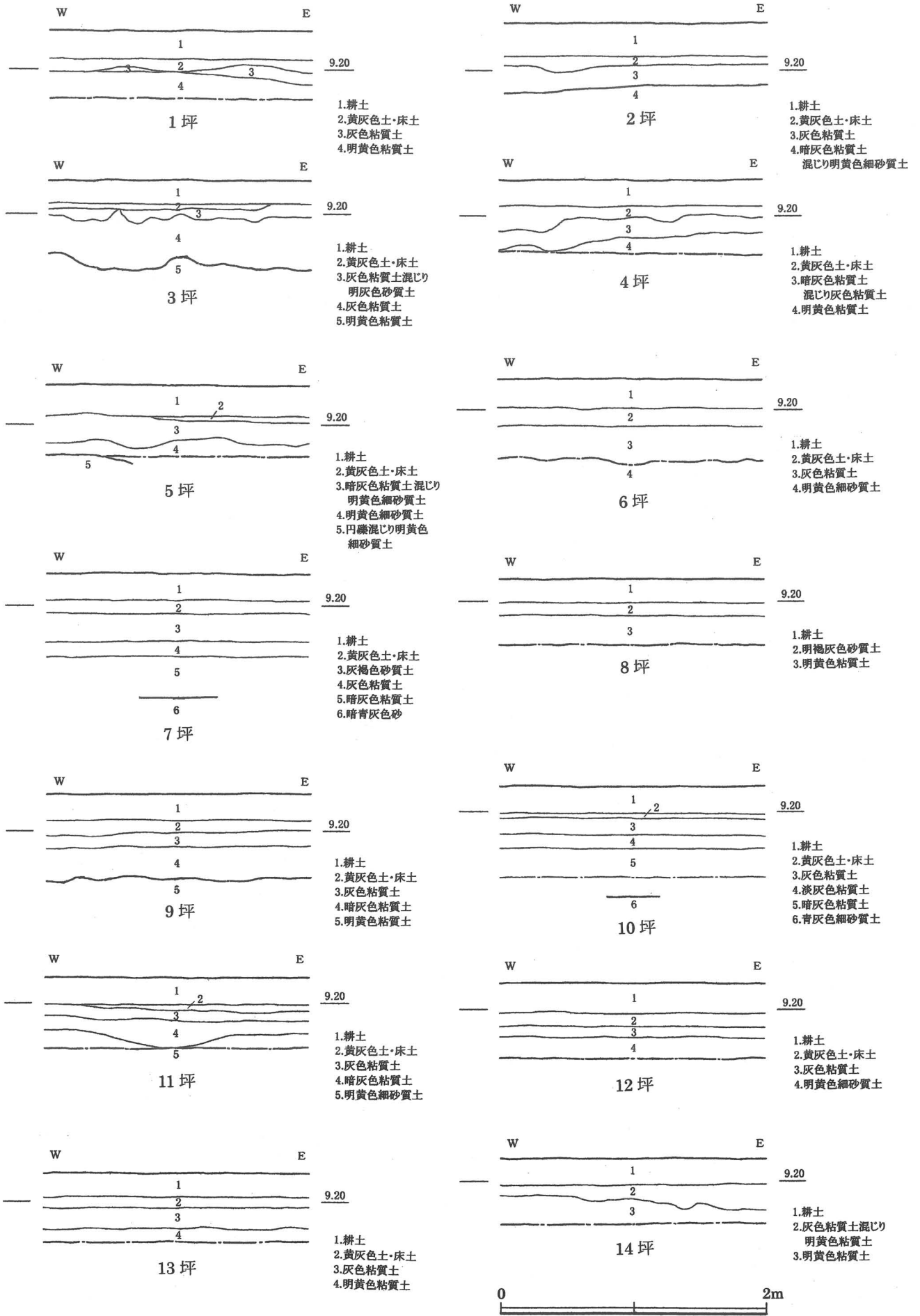
8. 調査の概要

調査は、2×2m の試掘坪を 30 箇所設定して実施した。

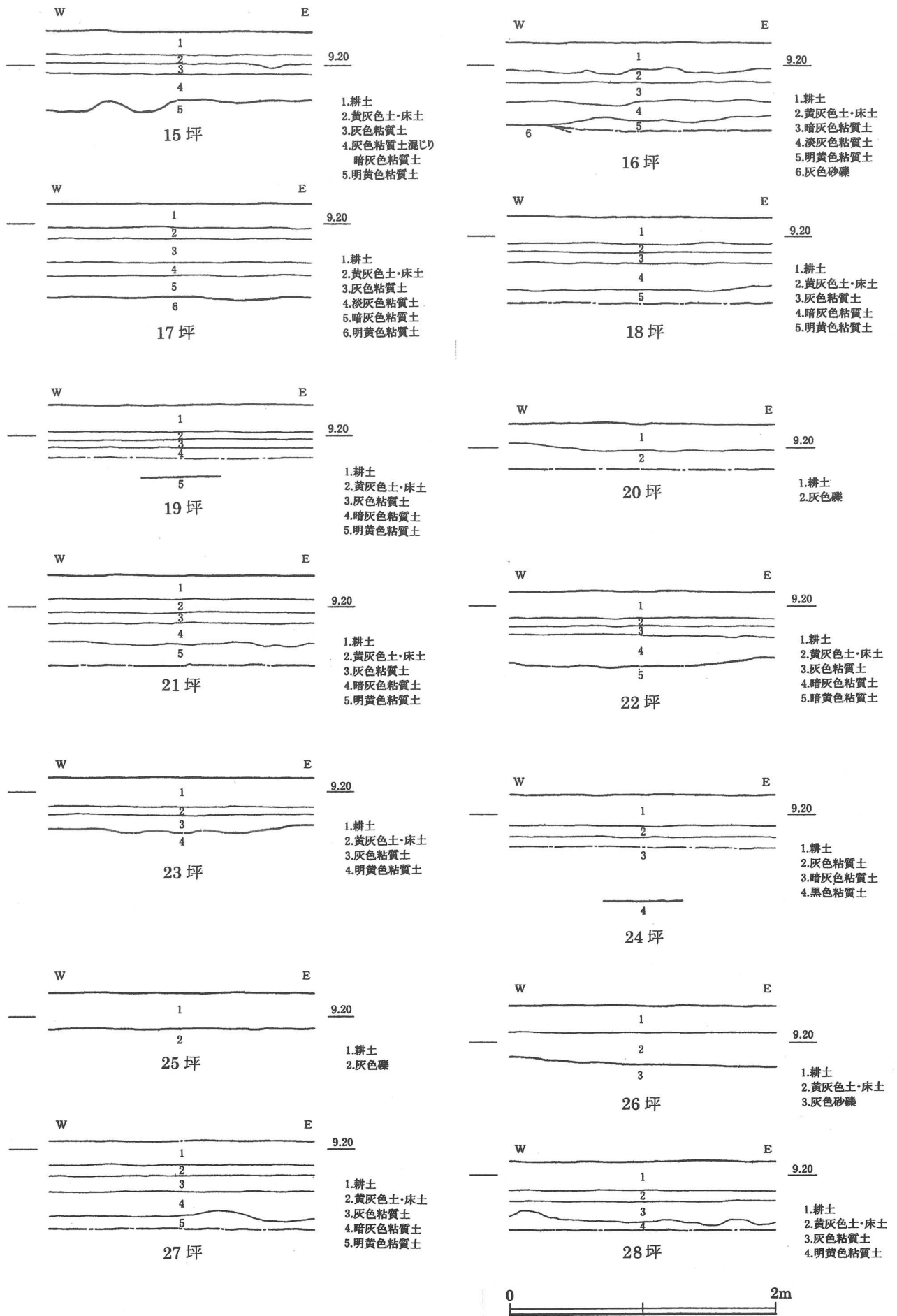
調査地の基本土層は、上層から耕土 (18～24cm)、黄灰色土・床土 (4～14cm)、灰色粘質土 (10～30cm)、暗灰色粘質土 (16～30cm) で明黄色粘質土ないしは明黄色細砂質土の地山となっているが、20・25 坪では耕土直下で灰色砂礫となっている。各試掘坪とも遺物包含層・遺構は検出されず、遺物の出土もなかった。

9. まとめ

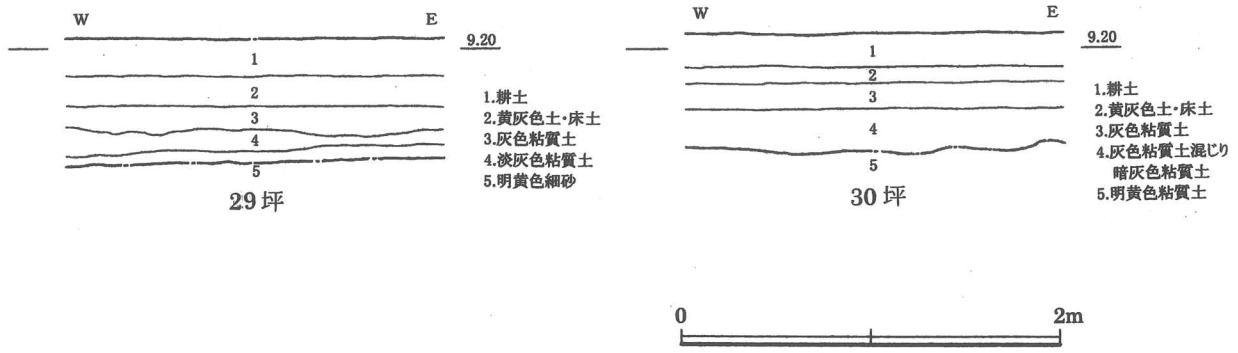
調査の結果、遺構・遺物包含層は確認されず、遺物の出土もなく、今回の調査地点まで沼田遺跡の範囲が及んでいないことが確認された。土層の堆積状況から、調査地一帯は大津茂川の影響を受けた低湿地状の地形であったと推測される。



第18図 土層断面図(1)



第 19 図 土層断面図 (2)



第 20 図 土層断面図 (3)



写真 14 1坪

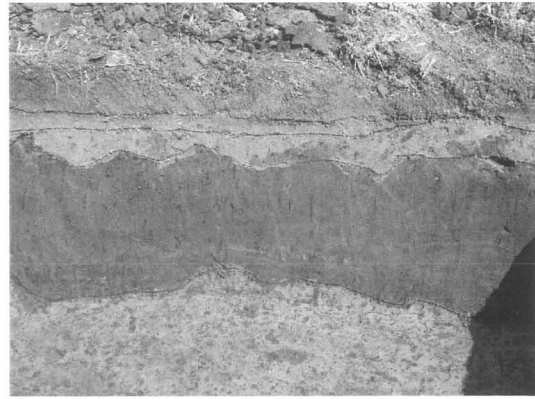


写真 15 3坪



写真 16 10坪



写真 17 17坪



写真 18 20坪



写真 19 26坪

上構遺跡

1. 遺跡の所在地

揖保郡太子町岩見構字川ノ上 608 番 1

2. 調査機関

揖保郡太子町教育委員会

3. 調査担当者

太子町教育委員会社会教育課 海野浩幸

4. 調査期間

平成 24 年 9 月 20 日～9 月 28 日

5. 調査面積

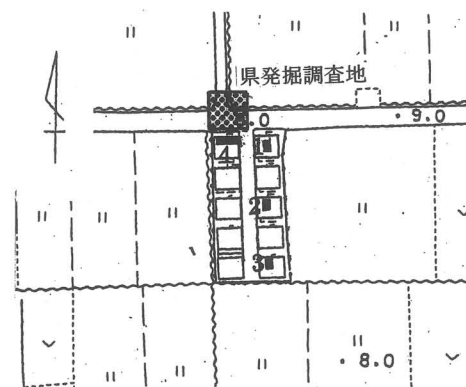
36.09 m²

6. 記録作成

遺構実測図 (1/20)、土層実測図 (1/20)、遺物実測図 (1/1)、トレンチ配置図 (1/200)

写真記録 (デジタルカメラ撮影)

北緯 (34 度 48 分 58 秒)、東経 (134 度 33 分 33 秒)



第 21 図 トレンチ配置図 (1/2,500)

7. 調査に至る経過

太子町岩見構字川ノ上 608 番 1 において宅地造成工事が計画され、造成予定地は周知の埋蔵文化財である上構遺跡の包蔵地内に位置することから、遺構及び遺物包含層の有無の確認を目的に確認調査を実施した。調査地の現況は、標高 10.40m 前後を測る宅地である。

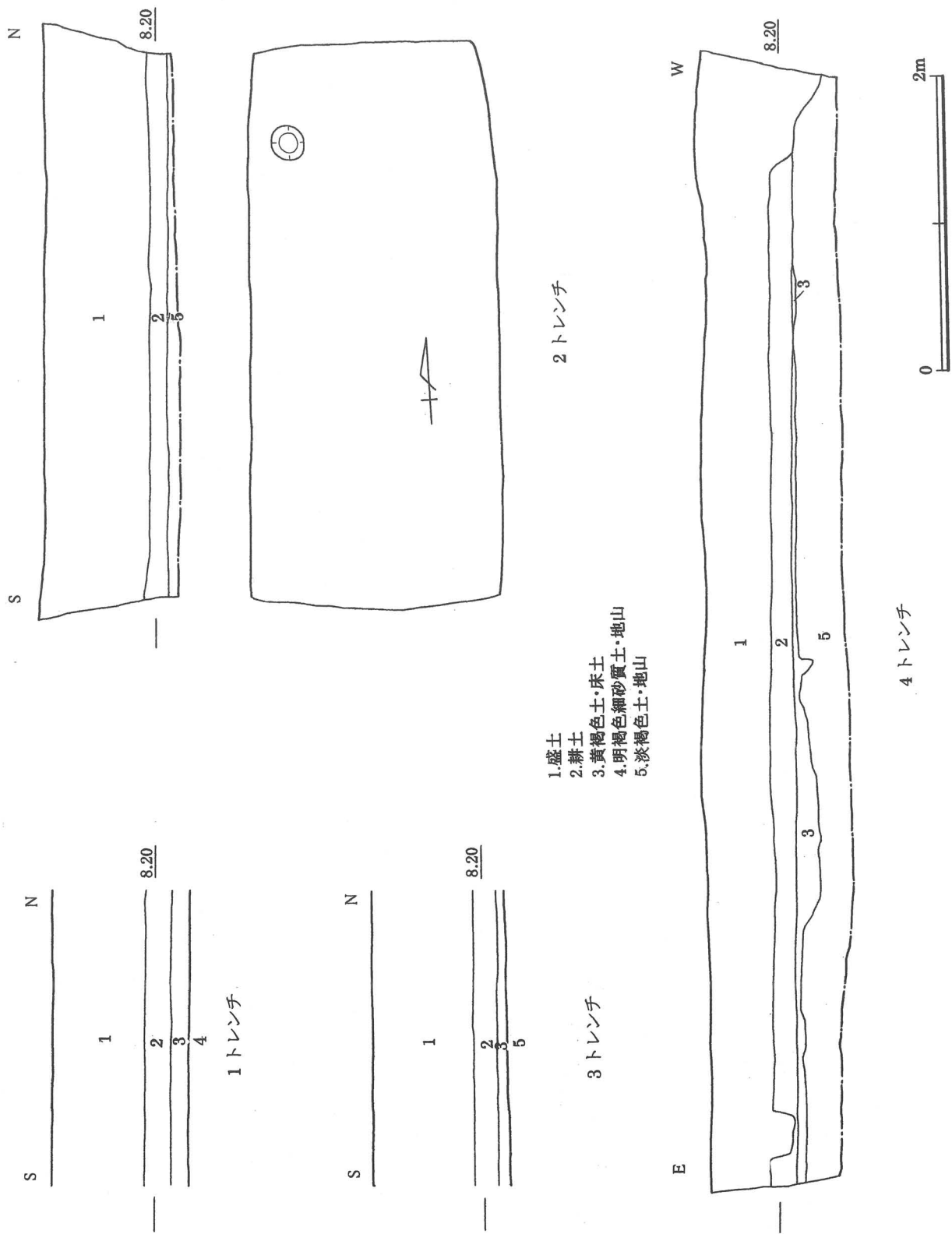
8. 調査の概要

調査は、2×4mのトレンチを3箇所設定して実施したところ、2トレンチでピット1基が検出されたため、昭和62年度に兵庫県教育委員会により実施された、幹線下水道整備に伴う発掘調査地点の南側に位置する調査地北西隅部分に1.5×8mのトレンチを追加設定した。

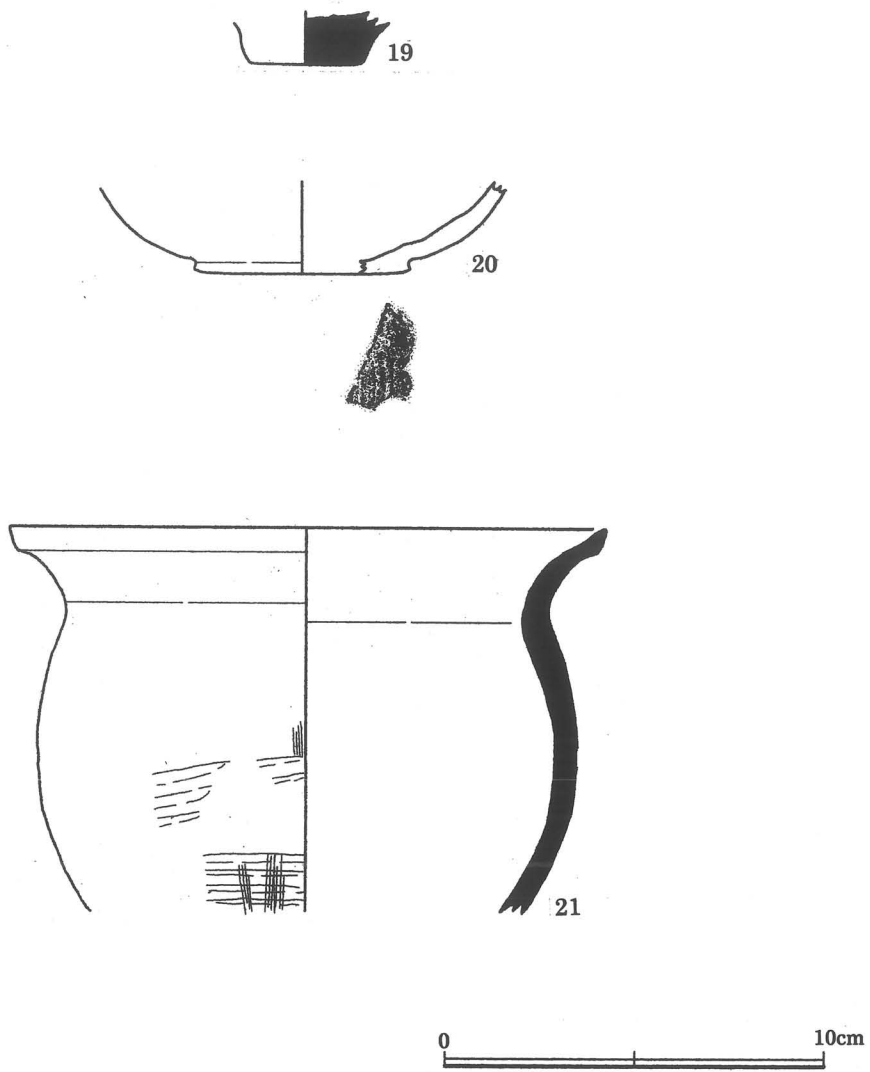
調査地の基本土層は、上層から盛土(60～70cm)、旧耕土(14～18cm)、黄灰色土・床土(2～12cm)で淡褐色土・地山となっている。遺構は、2トレンチでピット1基を検出ただけで、追加設定したトレンチからは遺構は検出されなかった。ピットは直径20cm、深さ5cmを測る。遺物は、1トレンチから弥生土器片、2トレンチから須恵器片、4トレンチから土師器片が出土したが、2トレンチのピットからの出土はなかった。

9. まとめ

調査の結果、2トレンチで時期不明のピット1基を検出するにとどまった。遺物も、1・2・4トレンチから弥生土器片・土師器片・須恵器片が若干出土しただけである。



第 22 図 遺構平面・土層断面図



19 (1トレンチ)、20 (2トレンチ)、21 (4トレンチ)

(19. 弥生土器、20. 須恵器、21. 土師器)

第23図 出土遺物

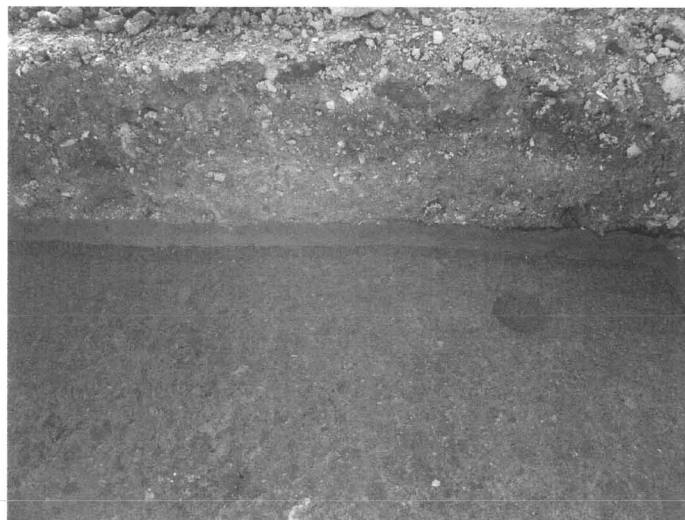


写真20 2トレンチ (東より)

表2 遺物観察表

No.	遺跡名	出土地点	種別 器種	遺物番号	法 量(cm)			焼 成	色 調	胎 土	調 整
					口 径	器 高	底 径				
1	船構居跡	1トレンチ 攪乱層	土師器 皿	1201-1-3	9.0	1.5	5.0	やや甘い	外 7.5YR6/4 鈍い橙 内 7.5YR6/4 鈍い橙	微砂粒わずかに 含む	外 ナデ 内 ナデ
2	"	"	備前 甕	1201-1-1	21.4	9.8		良好	外 2.5YR4/3 鈍い赤褐 10YR6/1 褐灰 内 2.5YR4/3 鈍い赤褐 10YR6/1 褐灰	砂粒少量含む	外 回転ナデ、カキ目 内 回転ナデ
3	"	"	備前 火入	1201-1-2	12.4	6.5	13.2	良好	外 2.5YR5/2 灰赤 内 2.5YR6/3 鈍い橙 2.5YR4/3 赤褐	砂粒多く含む	外 回転ナデ 内 ナデ、自然釉
4	"	"	磁器 染付碗	1201-1-4	11.2	6.2	4.4	良好	外 5G7/1 明緑灰 内 5G7/1 明緑灰	密	外 施釉 内 施釉
5	"	1トレンチ 西端整地層	土師器 皿	1201-1-5	10.3	1.95	7.2	良好	外 5YR7/4 鈍い橙 内 5YR7/4 鈍い橙	微砂粒少量含む	外 回転ナデ、底部糸切 内 回転ナデ
6	"	"	土師器 皿	1201-1-7	8.0	1.4	6.0	良好	外 7.5YR7/3 鈍い橙 内 7.5YR7/3 鈍い橙	微砂粒少量含む	外 磨耗、指頭玉痕、底部糸切 内 磨耗
7	"	"	土師器 皿	1201-1-6	6.6	1.15	5.0	良好	外 10YR7/3 鈍い黄橙 内 10YR7/3 鈍い黄橙	微砂粒少量含む	外 磨耗、底部糸切 内 磨耗
8	"	"	土師器 皿	1201-1-8	7.4	1.4	4.8	良好	外 7.5YR8/2 灰白 内 7.5YR8/2 灰白	微砂粒わずかに 含む	外 回転ナデ、底部糸切 内 回転ナデ
9	"	"	土師器 皿	1201-1-9	7.2	1.1	4.0	良好	外 7.5YR8/2 灰白 内 7.5YR8/2 灰白	密	外 回転ナデ、底部ヘラ起し 内 回転ナデ
10	"	2トレンチ 土坑1	備前焼 播鉢	1201-2-3	23.0	3.7		良好	外 2.5YR4/3 鈍い赤褐 10YR6/1 褐灰 内 2.5YR4/3 鈍い赤褐 10YR6/1 褐灰	微砂粒少量含む	外 回転ナデ 内 回転ナデ
11	"	"	磁器 青磁碗	1201-2-1	10.8	6.4	3.9	良好	外 10GY7/1 明緑灰 内 10GY8/1 明緑灰	密	外 施釉 内 施釉
12	"	"	磁器 染付碗	1201-2-2		3.4	3.7	良好	外 10GY7/1 明緑灰 2.5GY7/1 明オリ ープ灰 内 2.5G7/1 明オリープ灰	密	外 施釉 内 施釉
13	"	2トレンチ 土坑3	備前焼 播鉢	12-1-3-1	27.0	6.4		良好	外 2.5YR4/4 鈍い赤褐 10R5/6 赤 内 10R5/3 赤褐 10R5/6 赤	細砂粒少量含む	外 回転ナデ 内 回転ナデ
14	"	"	陶器 唐津皿	1201-3-2	19.0	4.2		良好	外 10YR5/3 鈍い黄褐 内 10YR6/2 灰黄褐	微砂粒少量含む	外 ヘラ削り 内 鉄釉
15	"	"	磁器 染付碗	1201-3-3	10.0	5.5	4.0	良好	外 N8 灰白 内 N8 灰白	密	外 施釉 内 施釉
16	斑鳩寺南遺跡	2トレンチ 土坑2	縄文	1202-1-1		3.7		甘い	外 5YR5/6 明赤褐 内 10YR3/1 黒褐	石英と砂粒含む	外 ナデ 内 ナデ
17	"	"	縄文	1202-1-2		2.9		甘い	外 7.5YR5/3 鈍い褐 内 7.5YR4/1 褐灰	砂粒多く含む	外 縄文 内 ナデ
18	"	"	縄文	1202-1-3		3.5		甘い	外 7.5YR4/2 灰褐 内 7.5YR4/2 灰褐	砂粒多く含む	外 縄文 内 ナデ
19	上構遺跡	1トレンチ	弥生 底部	1203-1-1		1.4	3.0	良好	外 5YR 淡橙 内 5YR 淡橙	2mm 大の小石 砂粒多く含む	外 磨耗のため不明 内 磨耗のため不明
20	"	2トレンチ	須恵器 碗	1203-2-1		2.3	5.6	良好	外 N7 灰白 内 N7 灰白	微砂粒含む	外 ナデ、底部糸切 内 回転ナデ
21	"	4トレンチ	土師器 甕	1203-3-1	15.6	10.3		良好	外 7.5YR8/2 灰白 内 7.5YR8/2 灰白	細砂含む	外 タタキ、ヨコナデ、刷毛目 内 ヨコナデ

表3 平成24年度発掘届出（法93条）一覧表

No.	遺跡名 種類	届出地	工事の目的	開発面積 (㎡)	町文書番号 進達年月日	県文書番号 発信年月日	備考
1	城山遺跡 集落跡	鵜字八幡分 933 番 1	その他建物	1,310.10	太教社教第 37 号 平成 24 年 4 月 9 日	教文第 1186 号 平成 24 年 5 月 9 日	慎重工事
2	東南遺跡 集落跡	鵜字須円坊 73 番 3	個人住宅	162.06	太教社教第 47 号 平成 24 年 4 月 13 日	教文第 1246 号 平成 24 年 5 月 22 日	慎重工事
3	鵜北遺跡 集落跡	佐用岡字五反畑 991 番 2	個人住宅	164.66	太教社教第 69 号 平成 24 年 4 月 23 日	教文第 1331 号 平成 24 年 6 月 1 日	慎重工事
4	東保遺跡 散布地	東保字木森 398 番 6	個人住宅	148.82	太教社教第 94 号 平成 24 年 5 月 11 日	教文第 1346 号 平成 24 年 6 月 4 日	慎重工事
5	鵜構居跡 集落跡	鵜字上之町 620 番	個人住宅	161	太教社教第 103 号 平成 24 年 6 月 11 日	教文第 1647 号 平成 24 年 7 月 2 日	確認調査
6	斑鳩寺北遺跡 集落跡	鵜字長福寺 887 番 1 他 2 筆	宅地造成	1,538	太教社教第 39 号 平成 24 年 6 月 20 日	教文第 1599 号 平成 24 年 6 月 22 日	確認調査
7	馬場遺跡 集落跡	馬場字樋ノ上 259 番 8	個人住宅	126.45	太教社教第 154 号 平成 24 年 6 月 21 日	教文第 1646 号 平成 24 年 7 月 2 日	慎重工事
8	斑鳩寺南遺跡 集落跡	鵜字中宮寺 504 番 1 他 2 筆	個人住宅	236.99	太教社教第 176 号 平成 24 年 7 月 17 日	教文第 1802 号 平成 24 年 7 月 27 日	確認調査
9	川島遺跡 集落跡	太田字五反田 1756 番 1	個人住宅	448.94	太教社教第 219 号 平成 24 年 7 月 19 日	教文第 1886 号 平成 24 年 7 月 31 日	慎重工事
10	鵜遺跡 集落跡	東保字高田 64 番 4 他 1 筆	個人住宅	237.07	太教社教第 178 号 平成 24 年 8 月 10 日	教文第 1979 号 平成 24 年 8 月 21 日	確認調査
11	矢田部南遺跡 集落跡	矢田部字書写田 423 他 3 筆	宅地造成	1,793	太教社教第 246 号 平成 24 年 9 月 14 日	教文第 2181 号 平成 24 年 9 月 19 日	確認調査
12	上構遺跡 集落跡	岩見構字川ノ上 608 番 1	宅地造成	1,162.58	太教社教第 279 号 平成 24 年 10 月 1 日	教文第 2337 号 平成 24 年 10 月 23 日	確認調査
13	東保遺跡 散布地	東保字木森 398 番 10	個人住宅	133.83	太教社教第 324 号 平成 24 年 10 月 16 日	教文第 2476 号 平成 24 年 11 月 6 日	慎重工事
14	鵜遺跡 集落跡	鵜字樋詰 1295 番 5 他 1 筆	個人住宅	161.02	太教社教第 280 号 平成 24 年 11 月 26 日	教文第 2337 号 平成 24 年 12 月 6 日	確認調査
15	蓮常寺北遺跡 集落跡	蓮常寺字一ノ宮 108 番 5	個人住宅	168.26	太教社教第 501 号 平成 25 年 2 月 20 日	教文第 3269 号 平成 25 年 3 月 8 日	慎重工事
16	鵜遺跡 集落跡	鵜字樋詰 1294 番 5 他 3 筆	個人住宅	289.76	太教社教第 513 号 平成 25 年 3 月 1 日	教文第 1066 号 平成 25 年 4 月 1 日	慎重工事
17	鵜遺跡 集落跡	東保字高田 42 番 12	個人住宅	165.46	太教社教第 520 号 平成 25 年 3 月 1 日	教文第 3290 号 平成 25 年 3 月 13 日	慎重工事

報告書抄録

ふりがな	へいせい24ねんど まいぞうぶんかざいちょうさねんぽう
書名	平成24年度 埋蔵文化財調査年報
副書名	— 国庫補助事業対象分 —
巻次	
シリーズ名	たいしちょうぶんかざいしりょう 太子町文化財資料
シリーズ番号	第80集
編著者名	海野浩幸
編集機関	太子町教育委員会
所在地	〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鵜 1369-1 TEL.079-277-1017
発行年月日	西暦 2014年3月31日

遺跡名	いかるがでらきたいせき 斑鳩寺北遺跡					
所在地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょういかるがざかみちのちよう 兵庫県揖保郡太子町 鵜 字長福寺					
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(m ²)	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 17"	134° 35' 30"	2012・4・23	134.24	宅地造成
450010	450008			～5・25		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
斑鳩寺北遺跡	集落跡	弥生・近世	ピット・土坑	土師器・須恵器・近世陶磁器・瓦		

遺跡名	いかるががままいあと 鵜構居跡					
所在地	ひょうごけんいぼぐんたいしちょういかるがざかみのちよう 兵庫県揖保郡太子町 鵜 字上之町					
コード	北緯	東経	調査期間	調査面積(m ²)	調査原因	
市町村	遺跡番号	34° 50' 11"	134° 34' 37"	2012・5・30	31.70	個人住宅建築
450010	450012			～6・11		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
鵜構居跡	集落跡	中世・近世	ピット・土坑	土師器・須恵器・近世陶磁器・瓦		

遺跡名		斑鳩寺南遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町 鵜字中宮寺				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 2"	134° 34' 28"	2012・7・6	16.03	個人住宅建築
450010	450013			～7・17		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
斑鳩寺南遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳 ・中世	土坑	縄文土器・サヌカイ ト片・須恵器		

遺跡名		鵜遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町東保字高田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 7"	134° 34' 53"	2012・7・13	16.03	個人住宅建築
450010	450017			～7・18		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
鵜遺跡	集落跡	縄文・弥生・古墳 ・中世	ピット			

遺跡名		矢田部南遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町矢田部字書写田				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 49' 26"	134° 35' 8"	2012・8・20	50.13	宅地造成
450010	450245			～8・30		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
矢田部南遺跡	集落跡	中世				

遺跡名		沼田遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町太田字岩町				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(㎡)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 50' 11"	134° 35' 52"	2012・9・5	120.36	社会福祉施設建設
450010	450066			～10・12		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
沼田遺跡	散布地	弥生				

遺跡名		上構遺跡				
所在地		兵庫県揖保郡太子町岩見構字川ノ上				
コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
市町村	遺跡番号	34° 48' 58"	134° 33' 33"	2012・9・20	36.09	宅地造成
450010	450219			～9・28		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
上構遺跡	集落跡	弥生・古墳・平安	ピット	弥生土器・土師器・須恵器		

平成24年度 埋蔵文化財調査年報

発行日 平成26年 3月31日

発行 太子町教育委員会

兵庫県揖保郡太子町鷗1369-1

電話 079-277-1017

印刷 合名会社 柳生印刷所
